

# ＼日本も元気にする／ 青年海外協力隊



青年海外協力隊をはじめとするJICAボランティアとして開発途上国の課題解決に取り組み、帰国したボランティアの人数が5万人を超えました。彼らは、2年間にわたる開発途上国でのボランティア活動を通して、異なる文化や生活、価値観に触れながら、広い視野や豊かなコミュニケーション能力、課題解決能力を磨いてきました。  
青年海外協力隊として赴いた国の課題の解決に取り組む中で、日本という国や自身を顧みながら人間として成長しました。帰国後、それぞれの生き方の中で、2年間の経験がどのように活かされているのか、帰国したボランティアのみなさんに聞いてみました。

## Interview 31

もう一度開発途上国で活動したい。  
まずはそのための修業をしていきたい。

元JICA中部 名古屋市国際協力推進員 谷村 祐樹さん (愛知県名古屋市在住)



派遣国  
タンザニア  
(小学校教諭)  
派遣期間  
2011.6～2013.6

## Interview 33

2年間の経験は、忙しい日々でも忘れてはいけなく、立ち返るべきものに。

個人事業、農家 稲葉 亮二さん (愛知県豊田市在住)



派遣国  
ウガンダ  
(村落開発普及員)  
派遣期間  
2012.1～2014.3

## Interview 35

協力隊で経験した全てのことが役立っています！

特定非営利活動法人 日本紛争予防センター

山田 彩乃さん (愛知県岡崎市出身)



派遣国  
ザンビア  
(村落開発普及員)  
派遣期間  
2012.6～2014.3

## Interview 37

ないない尽くしのバングラデシュ。ここでの経験はどんな逆境でも前向きに対処できる自信に。

中部大学春日丘高校 海外交流アドバイザー 足立 詠子さん



派遣国  
バングラデシュ  
(村落開発普及員)  
派遣期間  
2012.6～2014.10

## Interview 39

『自分という存在をすきになる』ということ。

名古屋市立東海小学校 住友 夏代さん



派遣国  
日系社会青年ボランティア  
ブラジル(小学校教諭)  
派遣期間  
2013.7～2015.3

## Interview 32

派遣先団体で活動したという経験そのものが今の仕事で役立っている。

公益財団法人名古屋国際センター 池田 昌代さん (愛知県豊川市在住)



派遣国  
ブラジル(文化)  
派遣期間  
2011.7～2013.7

## Interview 34

帰国時は活動について後悔の気持ちが強かった。だからこそ、現在の仕事の原動力に。

健康体操教室(インストラクター) 石田 くみ子さん (愛知県春日井市在住)



派遣国  
マラウイ(エイズ対策)  
派遣期間  
2012.6～2014.6

## Interview 36

協力隊の経験から絶対的な知識量が必要だと感じ、進学を決意。

愛知県江南市立門弟山小学校 青山 翔さん (愛知県江南市在住)



派遣国  
バヌアツ(小学校教諭)  
派遣期間  
2012.6～2014.3

## Interview 38

協力隊経験で培ったもの、それは『柔軟な対応力』です。

春日井市嘱託職員(学童支援員) 和田 るい子さん (愛知県春日井市在住)



派遣国  
フィリピン(幼児教育)  
派遣期間  
2013.7～2015.6

## Interview 40

相手の思いや背景を理解して、物事を進めていくことを今でも大事にしています。

名古屋市立稲西小学校 木下 優子さん (愛知県名古屋市在住)



派遣国  
スリランカ(養護)  
派遣期間  
2013.7～2015.3

## Interview 41

生きる力や失敗を恐れず挑戦する精神力。そして何より自分の感情を伝える力が培われた。

株式会社スターダム(リングネームジャンгл叫女) 矢野 享菜さん (愛知県名古屋市出身)



派遣国  
セネガル(体育)  
派遣期間  
2013.7～2015.7

## Interview 43

うまくいかない～と思った時には協力隊での経験を思い出し、気持ち新たに励むようにしています。

犬山市役所 佐野 恵さん



派遣国  
ヨルダン(幼児教育)  
派遣期間  
2013.10～2015.9

## Interview 45

聞く人が聞く耳をもっていれば、どの人の言葉も必ず伝わる。「聞こえる人」になりたい。

愛知県立特別支援学校 教諭 星野 百合子さん (愛知県一宮市出身)



派遣国  
フィリピン(養護)  
派遣期間  
2013.10～2015.3

## Interview 47

青年海外協力隊の2年間は私の人生のスタートライン。

元JICA中部 愛知県国際協力推進員 近藤 保子さん (愛知県岡崎市在住)



派遣国  
セネガル(幼児教育)  
派遣期間  
2011.1～2013.1

## 関係団体

愛知県青年海外協力隊を支援する会

〒470-0133 愛知県日進市梅森台4-91-2  
(TEL) 052-804-6945 (FAX) 052-804-6945 (TEL-FAX兼用)

青年海外協力隊愛知県OB会

〒453-0872 名古屋市中村区平池町4丁目60-7 JICA 中部気付  
(E-Mail) jocvaihob@yahoo.co.jp  
(URL) <http://jocv.main.jp/aichi/> (BLOG) <https://blogs.yahoo.co.jp/jocvaihob/>  
(Facebook) <https://www.facebook.com/groups/907662422677178/>

## Interview 42

まずは相手を尊重し、知ることを心がけるように。

公益社団法人 青年海外協力協会 浅井 恵美子さん



派遣国  
ソロモン(医療機器)  
派遣期間  
2013.10～2015.9

## Interview 44

意見の食い違いにどう対処するか、同僚たちと理想的な協力関係ができたことが誇り。

自動車メーカー勤務 坪井 麻樹夫さん (愛知県岡崎市在住)



派遣国  
ウガンダ(自動車整備)  
派遣期間  
2013.10～2015.12

## Interview 46

ボランティアとして「国際協力」を考えるとより、ボランティアとして常に「建築」を考えた2年間。

1-1 Architects 一級建築士事務所 神谷 勇机さん (愛知県刈谷市在住)



派遣国  
ジンバブエ(建築)  
派遣期間  
2014.1～2015.12

## JICAボランティアとは…

JICAボランティアとは、「お互いの価値観・生活様式・文化を尊重し、直接ふれあい、交流しながら、貧困問題、環境問題などその国の社会的抱える問題に取り組み、経済や社会の発展に貢献することを目的としたボランティア」です。

◎事業の目的

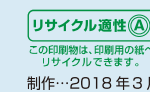
- 1 開発途上国の経済・社会の発展、復興への寄与
- 2 異文化社会における相互理解の深化と共生
- 3 ボランティア経験の社会還元

## JICA中部コスモスクラブ

(東海四県シニア海外ボランティアOB・OGの会)  
(TEL) 0565-45-7428 (E-Mail) morin0511@gmail.com

## 公益社団法人 青年海外協力協会 中部支部 (JOCA中部支部)

〒453-0015 愛知県名古屋市東区椿町17-16 丸元ビル804号  
(TEL) 052-459-7224 (FAX) 052-459-7225  
(URL) <http://www.joca.or.jp/chubu>



この印刷物は、印刷物の紙をリサイクルできます。制作…2018年3月